

概要説明書

概要説明書(その1)		※登録No.	2024D201
技術名称	目地部からの漏水を抑える高機能止水材	※登録年月日	2025.2.21
		※変更登録年月日	
商標名等	メジエイド	開発年月	2021.2
分野	☒ 土木分野 ☐ 建築分野 (必ず、どちらかを選択してください。)		
区分	☐ 工法 ☒ 製品 ☐ 材料 ☐ 機械 ☐ システム		
キーワード (複数選択可)	☐ 安全・安心 ☐ 環境 ☒ コスト縮減・生産性の向上 ☒ 公共工事の品質確保・向上 ☐ 景観 ☐ 伝統・歴史・文化 ☐ リサイクル		
	自由記入		
開発目標 (複数選択可)	☐ 省人化 ☒ 省力化 ☐ 経済性の向上 ☐ 施工精度の向上 ☒ 耐久性の向上 ☐ 安全性の向上 ☐ 作業環境の向上 ☐ 周辺環境への影響抑制 ☐ 地球環境への影響抑制 ☐ 省資源・省エネルギー ☒ 品質の向上 ☐ リサイクル性向上 ☐ その他 ()		
	☒ 単独 ☐ 共同研究 (☐ 民・民 ☐ 民・官 ☐ 民・学)		
開発体制	開発会社 ヒートロック工業株式会社		
公的支援助成等(「Made in 新潟 新商品調達制度」)の関連の有無 ※分類の詳細は(その8)参照			
該当の有無	☒ 無し ☐ 有り ☐ I ☐ II ☐ III ☐ IV ☐ V ☐ VI		
問合せ先	会社名	ヒートロック工業株式会社	
	担当部署	新潟営業所	
	担当者	伊藤 武史	
	住 所	新潟県新潟市秋葉区川口580-15	
	Tel	0250-21-6030	
	Fax	0250-21-6033	
	E-mail	kaihatsu@heatrock.co.jp	
	ホームページURL	http://www.heatrock.co.jp	
新技術の概要※ホームページでの検索結果に表示する技術の概要です(全角127文字以内)			
本技術は、構造物目地部における雨水の侵入防止を目的とした止水材で、従来はバックアップ材とシーリング材で対応していた。本技術の活用により、止水性・耐久性が向上するため、品質の向上とライフサイクルコスト縮減が期待できる。			
新技術の概要			
①何について何をする技術か？(新規性についてではない) 構造物目地部の雨水の侵入防止を目的とした止水材			
②従来はどのような技術で対応していたか？(従来の技術についてのみ記載する。新技術との比較ではない) バックアップ材とシーリング材			
③公共工事のどこに適用できるか？ ・橋梁用伸縮装置の1次もしくは2次止水材(鋼製ジョイント、埋設ジョイント、その他ジョイント) ・構造物目地部の止水材(橋梁壁高欄・地覆隙間部、ボックスカルバート目地部など)			

概要説明書(その2)

技術名称	目地部からの漏水を抑える高機能止水材	※登録No.	2024D201
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？) 従来のバックアップ材(ウレタンフォーム)から、伸縮追随性の高い合成ゴム発泡体の表面に、特殊改質アスファルト乳剤の防水加工を施した止水材に変更。プライマーをシリコン系シーリング材に変更。 ②期待される効果(～が～になる。～を～にすることができる。) 合成ゴム発泡体＋表面に特殊改質アスファルト乳剤に変更したことにより、耐久性が30年となるため、品質の向上とライフサイクルコスト縮減が期待できる。 プライマーをシリコン系シーリング材に変えたことにより、従来でのプライマー硬化の待ち時間(23℃、15～30分程度)が必要なく、施工時間の短縮が計られる。 ③アピールポイント 従来技術の止水材はシーリング材の割れ等により、約1～2年程度で漏水が発生する。本技術の活用により、品質・耐久性が向上するため、補修回数が削減できる。 橋梁では、伸縮装置と地覆との界面の止水構造の連続性が確保できるため、止水性が向上する。			
適用条件			
①自然条件 雨天等により、施工面が濡れている状態では施工不可 ②現場条件 ・施工面が乾燥していること ・作業スペース1m×1m程度必要 ③技術提供可能地域 ・技術提供地域については制限無し ④関係法令等 ・特になし			
適用範囲			
①適用可能な範囲 ・構造物目地部(橋梁壁高欄・地覆隙間部、ボックスカルバート・擁壁目地部など) ・橋梁遊間部(横目地・縦目地) ・コンクリート構造物、鋼構造物 ・隙間幅10～110mm ②特に効果の高い適用範囲 ・橋梁の伸縮装置と地覆の界面からの漏水対策が必要な箇所 従来技術では、橋梁の伸縮装置部と地覆隙間部で別々の製品を使用しており、界面部の接続や処理が難しく、漏水の原因となっている。橋梁の伸縮装置部と地覆隙間部を一体化することで高い止水性が確保できる。 ③適用できない範囲 ・隙間幅10mm未満、110mm以上 ④適用にあたり、関係する基準及びその引用元 ・特になし			
留意事項			
①設計時 ・適用範囲内(隙間幅10～110mm)であることを確認すること。 ・重交通路線では、輪荷重がかからないよう留意すること。 ②施工時 ・事前に設置面の乾燥、清掃を行うこと。 ・降雨時及び降雨が予想される時は施工を行わないこと。 ・コンクリート構造物においては、下地の状態を確認し、必要に応じて断面修復などの作業を行うこと。 ③維持管理時 ・特になし ④その他 ・特になし			

概要説明書(その4)

技術名称	目地部からの漏水を抑える高機能止水材			※登録No.	2024D201
施工単価	☐ 歩掛りなし ☒ 歩掛りあり(☐ 標準 ・ ☐ 協会 ・ ☒ 自社)				
施工条件					
・施工場所:新潟県新潟市 ・施工時期:令和6年4月 ・施工内容:橋梁地覆隙間部の目地処理工					
・施工延長:10m ・遊間幅:40mm ・交通規制費、断面修復費は含まない					
・メジエイドMA40(W90×T70)					
・シーリング材シール深さ:新技術(20mm) ※新技術は表面保護用として使用					
項 目	仕 様	数量	単位	単価(円)	摘 要
高機能止水材	メジエイド MA40	10	m	16,000	遊間幅40mm 接着用シリコン材込み
シーリング材	シリコン系、深さ20mm	8.8	L	5,620	遊間幅 40mm 建設物価令和5年5月1日
土木一般世話役		1	人	26,900	公共工事設計労務単価(新潟県)
特殊作業員		2	人	26,100	公共工事設計労務単価(新潟県)
普通作業員		2	人	21,900	公共工事設計労務単価(新潟県)
①設置面の清掃:設置面の砂や土、埃を落とすため、ケレンを行う。					
②接着用シリコン材塗布:設置面に接着用シリコンを塗布する。塗布後、設置面にヘラ等で厚さ1mm程度に伸ばす。					
③メジエイド設置:メジエイドの止水面が上になるよう、圧縮しながら設置する。					
④シーリング材で表面保護:設置後、表面保護用にシーリングを行う。ヘラで表面を仕上げる。					
 設置面の土や埃 をケレンで落とし 清掃する  設置側面に 接着用 シリコンを 塗布する  メジエイドを圧縮 しながら設置する  表面をシーリング する。  設置完了					
残された課題と今後の開発計画					
①課題 当初、排水機能が無いことが課題であったが、メジエイドにドレインパーツを接続することで、伸縮目地部からの漏水を防止し、任意の場所から排水することが可能となったため、特になし					
②計画 特になし					
施工実績	☒ あり ☐ なし				
新潟県の公共事業	7				
他の公共機関	743				
民間等	0				
特許・実用新案					番 号
特 許	☐ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☒ なし				
実用新案	☐ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☒ なし				
他の機関による 評価・証明	証明機関	国土交通省			
	制度名	NETIS			
	番号	HR-240001-A			
	評価等年月日	2024.05.23			
	証明等範囲				

概要説明書(その5)

技術名称	目地部からの漏水を抑える高機能止水材	※登録No.	2024D201
概要図、写真等			

高機能止水材

メジエイド

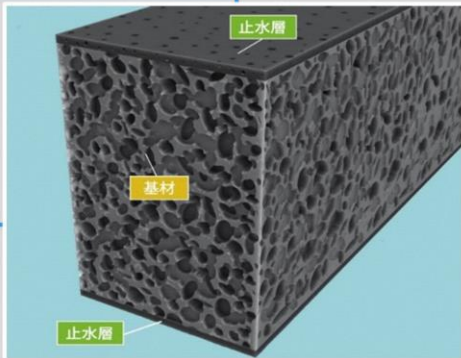


■メジエイドは、**独自製法により抜群の止水性と追従性**を併せ持ち
伸縮目地部からの漏水問題を解決する万能型目地材です。

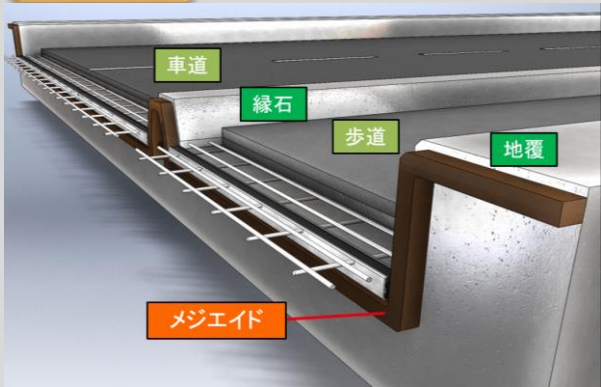
止水性

ポイント1 止水性と追従性の両立

- メジエイドは、**合成ゴム発泡体を基材**に適用し、上下表層に**特殊加工**を行うことで強力な**止水層**を形成します。
- 表層のみに特殊加工を行うことで、**基材の復元力は保持され、設置後も目地部の変動に追従**します。



簡易性



ポイント2 簡易施工でコスト

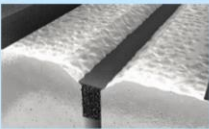
- 側面に専用シリコンを塗布し、設置後に接着界面をシーリングする**簡易施工**です。
- バックアップ材にシリコンを何重にも塗布していた従来工法と比較すると**労力、時間、費用のトータルコスト削減**に繋がります。

多様性

ポイント3 多用途に適用

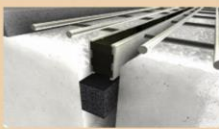
- 豊富なサイズと**柔軟な性質**で様々な用途に**形状を変えて対応可能**な目地材です。

極小遊間



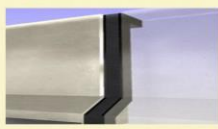
止水対策が難しい
極小遊間にも

ジョイント下部



ジョイント部の
二次止水材として

壁高欄部



壁高欄の目地処理が
簡易施工で完了

概要説明書(その6)

技術名称		目地部からの漏水を抑える高機能止水材		※登録No.	2024D201
施工実績一覧					
区分	発注者	地域機関名	施工時期	工 事 名	
県内における施工実績	新潟市役所	西部地域土木事務所	2023.02～2023.03	西土第35号 夏井津雲田線原栄橋橋梁補修工事	
	上越市役所	都市整備部道路課	2023.07～2023.12	補道修第5-4号 橋梁修繕工事	
	新潟市役所	西部地域土木事務所	2023.08～2024.01	西土第13号 堀山鷺ノ木線無名橋(2167)橋梁補修工事	
	国土交通省	高田河川国道事務所	2023.08～2024.10	境橋架替迂回路その2工事	
	新潟市役所	西部地域土木事務所	2023.09～2024.02	西土第12号 岩室1-59号線矢川2号橋橋梁補修工事	
	長岡市役所	土木部道路建設課	2023.10～2024.05	【案件番号1016742】橋りょう修繕工事	
	長岡市役所	土木部道路建設課	2023.11～2024.03	【案件番号1016809】橋りょう修繕工事	
	新潟県	糸魚川地域振興局	2024.03～2024.06	一般国道148号道路更新防災(公共橋補)補正姫六橋舗装・橋面防水	
	上越市役所	都市整備部道路課	2024.06～2024.09	補道修第5-補-5号 橋梁修繕工事	
	上越市役所	都市整備部道路課	2024.06～2024.09	補道修第5-補-6号 橋梁修繕工事 他17件	
県外における施工実績	静岡県	島田土木事務所	2021.03～2021.09	令和2年度[第32-D7282-01号](一)相俣岡部線橋梁耐震対策工事(落合橋 橋面補修工)	
	相馬市役所	建設課	2021.03～2022.09	間ノ次郎橋長寿命化修繕その2工事	
	静岡県	島田土木事務所	2021.04～2021.11	令和2年度[第32-D7080-01号](主)藤枝天竜線 橋梁補修工事(原高橋ほか2橋)	
	岩手県	県南広域振興局北上土木センター	2021.07～2022.10	一般国道107号中の橋橋梁補修工事	
	秋田県	仙北地域振興局	2021.09～2022.03	道路メンテナンス工事(橋梁補修)	
	秋田市	建設課	2021.10～2022.03	道橋修第20号 市道柳館松崎2号線 赤平橋橋梁補修工事	
	長野県	須坂建設事務所	2022.02～2022.10	令和3年度国補道路メンテナンス(橋梁)工事	
	熊本県	県北広域本部安蘇地域振興局	2022.04～2022.09	令和3年度 道補修(補) 第6001-A-101号 国道265号(坂梨跨線橋)道路補修補助事業(橋梁)工事	
	国土交通省	室蘭開発建設部	2022.05～2023.01	一般国道36号室蘭市母恋高架橋補修外一連工事	
	札幌市役所	建設課	2022.06～2023.01	国庫補助事業 屯田2条9号線(新琴似第2横線～屯田3丁目線間)ほか1線舗装路 他713件	

概要説明書(その7)

[illegible]